

朝晩涼しくなり、秋を感じるようになりました。通勤の道沿いに赤や白の彼岸花がきれいに咲いています。さて、LINEでお知らせしましたように、受付に非接触型の体温検知器カメラを設置させて頂きました。マスクをしても測定可能です。来院される保護者の皆さまも検温をお願い致します。インフルエンザワクチンも今月からスタート！忙しくなりますが職員一同頑張ります！院長 池澤滋

感染症情報 8/31~9/20	前回	今回
アデノウイルス	4	3
溶連菌感染症	2	3
感染性胃腸炎	28	16
水痘(水ぼうそう)	4	3
手足口病	14	4
RSウイルス	0	0
突発性発疹	18	12
ヘルパンギーナ	171	39
りんご病	0	0
ヒトメタニューモ	0	0
インフルエンザA	0	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	3	1
カンピロバクター	2	1

4コマまんが 作・絵 ちえこ&きみこ 実話「子だくさんのお助けマン」



住所:合志市野々島 2461
TEL:096-242-6633
診療時間:9:00~14:00~18:00
休診日:木曜・土曜午後・日曜祝
URL:<http://www.ikezawa.org/>

風笛



今から21年前にNHKで『あすか』というドラマが放送された。開業前の当時、久留米に住んでいた私は専業主婦。三番目の子どもが生まれて6か月くらいで、夫が大病院に出勤すれば、あとは今のようになんか追われることもなかった。

「朝ドラ」の主題歌はそれまでほとんどが誰かの「歌声」があったと思う。しかしこの『風笛』という主題歌はオーボエという楽器が奏でるメロディーだけ。哀愁が漂う、それでいて爽やかな魅力的な独特の音。穏やかな、厳かな音色、その旋律はのどかな広い自然を感じさせ、私に遠い記憶を運んでくるようですぐに惹きこまれてしまった。

当時、若い子どもが3人いる為、チャンネルは一日中、教育テレビになっていたが「あすか」が始まってからはこの曲を聴きたくて朝8時、私はNHKにリモコンを合わせた。ドラマが放映された半年間、毎朝、同じ時間に、同じように感動してドラマが始まる前に泣いた。その主人公「あすか」が竹内結子さんだった。9月の終わり、突然の訃報に驚いた。あんなに美しい顔に、姿に、いったいどんな鬱があったというのだろう。産後うつ、とかコロナが引き金とか勝手に推測しても本当のことは本人にしかわからない。

ただ、こんな出来事がある度に思うのは、大切な人がもし、何も伝えず自分で命を絶ったなら、自分が生きている間、ずっとずっと「どうして?」と答えを知りたくてたまらないだろうと思う。あの曲で毎朝泣いたのには実はもう一つ理由がある。母が癌で亡くなって一年、ようやく落ち着いた気持ちが、あの曲が流れた瞬間全てを思い出すような感覚だった。3人の子どもを抱え専業主婦として、ある意味閉鎖的に過ごす私に、あの曲が流れる数分が癒えることのない悲しみと向き合う時間だったのだ。

「癒される」とは忘れることでもなく、心を優しく撫でられることでもなく、傷ついた部分をえぐり取り、そのえぐられた部分が自ら再生していくことだと誰かが言った。

『風笛』が流れた半年間、まさに私はそんな体験をしたような気がしている。オーボエの美しさと繊細さ、柔らかさ、優しく棘がない音色はまさに竹内結子さんのようだと改めて思える。彼女が南阿蘇の災害支援を4年間続けたことを訃報と共に初めて知った。

美しい魂は決して忘れられないと思う。

文責 池澤千恵子

